



Yonago East Weekly

【生涯の友と共に、扉を開く】

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/西村正男 ●幹事/足立博俊 ●会報/面谷博紀

出席報告

会員数 110 名
 出席数 63 名 欠席数 41 名
 出席免除会員 6名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山君(有) 宮本(守)君 高橋君
 出席率 62.39 %

ビジター メイクアップ

会員9名(4/21インフォメーション) 会員7名(4/25
 地区研修・協議会 オンライン出席) 松本(奈)君
 (4/27松江しんじ湖RC) 会員22名(4/29米子東RC
 ゴルフコンペ)

今週のお祝

結婚記念日祝: 2日 植田 昭君 6日 佐田山
 一成君 13日 井上賢明君 永島清孝君 17日
 池口由紀彦君 18日 赤山俊寛君 前田浩寿君
 22日 佐田山有史君 23日 尾沢三夫君 24日
 野坂美仁君 27日 田淵亮達君
スマイルBOX 17,000 円 (844,000 円)
結婚記念日祝: 赤山君、江原君、池口君、永島
 (清)君、野坂(美)君、尾沢(三)君、佐田山(有)君
夫人誕生祝: 梅田君 **創立記念日祝:** 小椋(理)君

会長挨拶

お持ち帰り弁当の例会にしてから、このように例会が開く
 ことができることを喜んでおります。

本日のご来賓は飯野守男先生です。後ほど卓話をして
 いただく予定です。

法医学の話を聴かせていただくことを、実は懐かしい気
 持ちであります。と言いますのも弁護士になる前、13年間、
 検事をしております時に、法医学の先生には大変お世話
 になりました。殺人事件が起こりますと、検事が死体解剖
 に立ち会うこととなります。13年間のうちに数十回くらい死
 体解剖に立ち合わせていただきました。解剖を執刀される
 先生に解説していただいて、「この傷の幅はこれくらいだか
 ら凶器はこんなものかな」とかというようなお話を聞きなが
 ら、法医学の勉強をしていたことがあります。

お話を懐かしみながら楽しんで聴きたいと思えます。皆
 様、よろしく願いいたします。



幹事報告

- (1) 本日のご来訪
 - ・ 武本クリニック 院長 武本 祐 様
 例会終了後 13:30よりインフォメーション
 - ・ 鳥取大学医学部4年
 田中俊充 様・永田 史 様
- (2) 4/10合同IM登録お礼状 (鳥取北RCより)
- (3) 2021年6月12~16日バーチャル国際大会
 登録受付中
- (4) RI第2690地区米山学友会誌
 (菊池地区ガバナー事務所より)
- (5) 例会変更のお知らせ

米子中央	4/22(木)休会	ビジター受付なしに変更
	5/6(木)休会	なし
	5/13(木)短縮例会	なし
米子	4/23(金)臨時休会	なし
	4/30・5/7休会	なし
松江南	4/26(月)休会	
		ビジター受付 12:00~12:30
松江しんじ湖	4/27(火)休会	
		ビジター受付 12:00~12:30
鳥取西	4/30(金)休会	ビジター受付なし
倉吉東・鳥取・松江東	5/6(木)休会	〃
当クラブ	4/28・5/5(祝日)休会	



ロータリーは機会の扉を開く
ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

<本日のプログラム>

「法医学領域の話題 1. 死亡時画像診断(Ai)の有用性 2. 入浴事故とその予防」
鳥取大学医学部法医学分野教授 飯野守男 氏

平成27年に鳥取大学法医学教室の教授にご就任された飯野教授のお父様も「目の前の患者の病気を治すだけが医者の仕事ではない」と口癖を持つ解剖学者でいらっしゃいました。中学生の時に「法医学」を知り、「ローカル紙に載る県内すべての事件を一人の医者が解剖している」という職業の特殊性と稀少性に憧れたとおっしゃってられました。卓話の前半では、「死亡時画像診断(Ai)の有用性」、後半では「入浴事故とその予防」について、研究結果や多くの実例をご提示いただきながら、わかりやすくお話をいただきました。

《ご略歴》

昭和46年 米子生まれ
平成3年 米子東高校卒業(87期)
平成9年 鳥取大学医学部卒業(43期) 鳥取大学麻酔科入局
平成11年 大阪大学大学院(法医学)
平成15年 京都大学法医学 助手
平成20年 大阪大学法医学 助教
平成20年 オーストラリア・ビクトリア法医学研究所留学(法医放射線学)
平成22年 大阪大学法医学 講師
平成23年8月 「死因不明社会2 なぜAiが必要なのか」出版
平成25年 慶應義塾大学法医学 准教授
平成27年 鳥取大学法医学 教授
令和3年 鳥取大学医学部 学部長特別補佐(兼任)



「死亡時画像診断(Ai)の有用性」

○法医学とは:「医学的解明助言を必要とする法律上の案件、事項について、科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的とする医学」(日本法医学会)。簡単に言うと、法律でものを判断するときに、必要な医学的知識

○Ai(エーアイ)とは:昨今、死後の画像診断、いわゆるオートプシー・イメージング(Autopsy imaging)の概念が提唱され、救急医学、病理学、法医学分野で急速に普及しつつある。日本語は「死亡時画像診断」。裁判の証拠としても利用されるケースも出てきている。作家(病理医)の海堂尊先生が提唱した概念。和製英語。2018年4月、鳥取大学にAi専用CT導入

○まとめ

- ①Aiは死因究明のツールの一つとして非常に有用である(複雑な損傷のビジュアル化、解剖より診断能力に優れる場合がある、解剖の必要性の判断材料になる)
- ②Aiは遺族にとって解剖よりも受け入れやすい
- ③Aiは死因診断以外にも多くの利用法がある(解剖前の状態を撮像できる(非破壊検査)、事件の再現、医療関係者以外の説明に利用可能)
- ④Aiは災害時の個人識別(身元確認)において、絶大な威力を発揮する
- ⑤Aiの知識・経験のある医師(法医、病理医、放射線科医)が必要とされる

「入浴事故とその予防」

○鳥取県の入浴事故の特徴

- ・冬季に集中:12月から3月の4か月間で58%
- ・高齢者に集中:70歳以上が85%を占める
- ・年間100人の方が命を落としている

○入浴中急死は、体温上昇および低血圧による意識障害のために出浴が困難となり、さらに体温が上昇して致命的になる病態(熱中症)と考えられる。

○入浴中死亡は「予防できる死」の一つ

○まとめ:70歳以上の方は要注意!

①熱中症予防

- ・お湯の温度は41℃
- ・浸かる時間は10分以内

タイマーの活用

- ・浴室・脱衣場の暖房(長湯の防止)
- ・シャワーのみなら安全

②急変の早期発見

- ・家族に一言声をかけてから入浴する
- ・家族は5分ごとに声をかけて安否確認
- ・熱中症なら救命可能。溺水となったら手遅れ
- ・コールボタンの設置

③溺没防止、転倒防止、脱出補助

- ・手すりの設置

ポイント!

次回プログラム

5/ 5 休会

12 「オリンピックにおける技術革新」

19 「私の職業」

26 「ロータリーの友紹介」

「理事退任挨拶」

NHK鳥取放送局 局長 飯塚正人 氏
会員2名

雑誌委員会 井上雄介副リーダー
理事4名